

「福岡市環境基本計画（第四次）素案策定作業部会」報告

1 開催日時等

（１）開催日時

令和 6 年 8 月 6 日（火） 10：00～12：00

（２）開催場所

TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール ウェストルーム

（３）議題

- ・現行計画の検証及び福岡市の環境の現況等について
- ・第四次計画の方向性（案）について

（４）出席者（出席者 8 名、欠席者 1 名）

松山 倫也	委員（部会長）	萩島 理	委員
猪野 猛	委員	林 灯	委員
小出 秀雄	委員	久留 百合子	委員
中山 裕文	委員	山内 勝也	委員

2 議題「現行計画の検証及び福岡市の環境の現況等について」

資料 3－2

（１）事務局からの説明概要

福岡市環境基本計画（第四次）の策定にあたり、第三次計画における施策の進捗に関する検証や、各種データに基づく各分野の現状分析及び課題等について説明を行った。

（２）審議内容

事務局の説明後、各委員より現在の施策の取り組み状況等について、事務局への確認や意見があった。

（３）主な意見と考え方等

意 見	意見に対する事務局の考え方等
再エネ設備容量は、九州全域で順調に導入が増えているが、再エネで創出した電力が使用されていない時間が多くなっており、エネルギーマネジメントやデマンドレスポンス、蓄電等により再エネ電気を有効活用していくことが重要と考える。	蓄電池等により、余剰電力が生じる時間帯に発電した電気を貯め、夜間に活用していくことが重要と考える。 九州電力㈱では、エコキュートの炊き上げ時間を夜間から昼間にシフトさせることで、再エネ電気の有効活用に資する取り組みを進めており、引き続き、これらの民間企業等とも連携しながら、再エネ電気の有効活用について検討していく。
コロナ後、市内におけるインバウンド増加により、事業系ごみが増えていると思う。インバウンドに関連するごみ減量施策の視点も検討してもらいたい。	インバウンドの増加と事業系ごみ処理量の相関を分析することは難しいが、インバウンド由来のごみ処理は重要な観点であると考えており、しっかりと検討していく。
エシカル消費は、市民等にあまり浸透しておらず、購入から廃棄までのトータルでの教育や啓発が必要と考える。 エシカル消費は次期計画では強調して示すとともに、取り組みとしてもしっかり行ってもらいたい。	現在は、市政だより等による広報や、民間企業と連携してイベントを開催するなど、エシカル消費の普及啓発を行っている。 引き続き、事業者等とも連携しながら取り組みを進めていく。

3 議題「第四次計画の方向性案について」

資料 3-3

(1) 事務局からの説明概要

現行計画の検証結果や課題等を踏まえた次期環境基本計画の方向性案（他計画の統合、計画構成等）について説明を行った。

(2) 審議内容

事務局の説明後、各委員より次期環境基本計画の施策体系、めざすまちの姿等について、事務局への確認や意見があった。

(3) 主な意見と考え方等

【次期計画の施策体系】

意 見	意見に対する事務局の考え方等
包括的でよくまとまっているが、AI やビッグデータの活用の視点が不足していると思う。計画期間の 10 年先を見据え、技術革新により、どこまで行動のモニタリングや行動分析ができるか注視してほしい。	デジタル技術の活用やイノベーションの実装支援を通じた行動変容の促進の視点は重要と考えている。今後具体的な内容について審議会及び作業部会で議論をお願いしたい。 (資料 3-3 : P21・23 に視点を追加)
構造面はよくできているが、ウェルビーイングの言葉が国の方針のため仕方がないとはいえ馴染みにくい。SDGs は言葉が定着したように思うが、SDGs の言葉を計画上に残すことは考えているのか。	SDGs は 2030 年をゴールとしている目標であり、ポスト SDGs の議論も始まっていると認識している。考え方は普遍なものであり、どのように計画に落とし込めるか、検討していく。
行動変容はよいが、市民や事業者にとって一定のコストがかかるため、インセンティブや政策的な補助がセットになった政策が必要だと思う。市民の意識を変えるだけでない一歩踏み込んだ政策を計画に盛り込んでほしい。	政策的なインセンティブや補助を含めた行動変容の促進について、どのように計画に落とし込むか検討し、今後具体的な内容について審議会及び作業部会で議論をお願いしたい。
重点的に取り組むことを市民に示すことが重要であり、重点施策を先に示す構造はよい。	今回、作業部会と同様の内容を審議会に提示させていただいている。(資料 3-3 : P11)

【めざすまちの姿】

意 見	意見に対する事務局の考え方等
めざすまちの姿について、市の特性が伝わる例 2（今回の資料では案 1）『都市環境と自然が調和した、心豊かに暮らせるアジアのモデル都市』がよい。	今回、作業部会と同様の内容を案 1 として審議会に提示させていただいている。(資料 3-3 : P22)
めざすまち姿について、例 2（今回の資料では案 1）『都市環境と自然が調和した、心豊かに暮らせるアジアのモデル都市』がよい。アジアのモデル都市をフレーズとして入れることについて、胸を張って言える都市は少ないが福岡市は言えると思う。	
事業者や経済の観点を盛り込んでもいいと思う。	今回、案 2 として審議会に提示させていただいている。(資料 3-3 : P22)
「都市」というキーワードに事業者、経済の視点が含まれているかと思うが、もう少し明示的に示してもよいと思う。中小企業の行動変容は大事なポイント。	